

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、通常の診療で得られた患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

我が国における 1 型糖尿病の実態の解析に基づく適正治療の開発に関する研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院小児科

【研究責任者】 濱田 淳平（小児科 講師）

【研究代表者】 島田 朗（埼玉医科大学 教授）

### 【研究の目的】

1 型糖尿病は、標準的な治療が定まっておらず、よりよい治療を開発する必要があります。

そのためには、患者さんの病状やどのような治療を受けたかなどを詳しく調査する必要があります。

### 【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2019 年 11 月から 2019 年 12 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された 1 型糖尿病の患者さん

（利用するカルテ情報）

【必須項目】 年齢、性別、BMI、1 型糖尿病の病型（劇症、急性発症、緩徐進行）、免疫チェックポイント阻害薬投与歴、発症年齢（緩徐進行は診断時年齢）、発症（もしくは診断）年、インスリン治療期間、発症（もしくは診断時）の HbA1c、現在の HbA1c、膵島関連自己抗体（GAD 抗体、IA-2 抗体（緩徐進行については、進行予知、病勢評価目的）、内因性インスリン分泌能（C-ペプチド）、ケトアシドーシスの有無、ケトアシドーシスの有無、重症・無自覚低血糖の有無、自己免疫性甲状腺疾患の有無（バセドウ病、橋本病など）、血管合併症の有無（網膜症、

腎症、神経障害、大血管症、足病変など)、悪性腫瘍合併の有無、家族歴(1型糖尿病の有無)

治療 インスリン(MDI、CSII)、以下の薬剤の有無(SGLT2阻害薬、ビッグアナイド薬、DPP4阻害薬、GLP-1受容体作動薬、 $\alpha$ グルコシダーゼ阻害薬、その他の糖尿病薬)、膵(島)移植の有無、血糖モニターの種類、CGMあるいはiCGM使用の有無、応用カーボカウント実施の有無、医療費補助など

[任意項目] BMI、家族歴(2型糖尿病、その他の糖尿病の有無)、CGM、iCGMなどによる血糖変動指標など

#### 【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、匿名化して、Web上の電子的データ収集システムに入力します。多くの情報を解析することで、1型糖尿病の治療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

#### 【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院小児科 濱田 淳平

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

#### 【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院小児科 濱田淳平

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5320